

# 中核症状①記憶障害／②見当識障害など

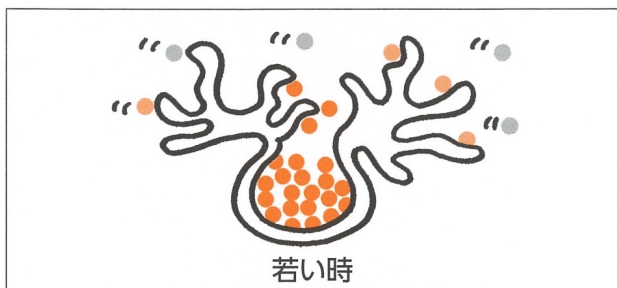
## 中核症状①記憶障害

脳には、見たり聞いたりしたことを覚えておく「記憶の壺」と想像してください。

● 大切な情報

● 関心のある情報

● 大切なでない情報

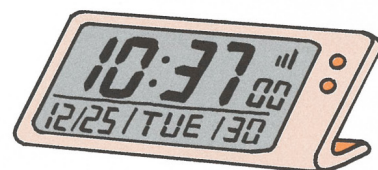


記憶の壺に大切な情報を入れることによって、覚えておくことができます。

認知症になると大切な情報を記憶の壺に入れることが難しくなりますが、すでに記憶の壺に入っている昔のことは覚えています。繰り返し壺に入れようとする、覚えられないこともあります。

認知症が進行すると記憶の壺に入っていた記憶まで出て行ってしまいます。

## 中核症状②見当識障害など



### 今の時間や月日がわからなくなる

何度も聞いたりしますが、何度も教えてあげてください。自分でわかるような工夫もしてあげてください。 対応例: デジタルの日付つき時計を使うなど

### 場所がわからなくなる

場所が覚えられなかったり、私たちがみているのとは違った風景に見えていたりするために、場所がわからなくなります。 対応例: 一緒に散歩に行く

### 人がわからなくなる

よく知っている人がわからなくなることがあります。 例: 自分から名乗ってあげてください

## その他の中核症状

▽考えるスピードが遅くなる

▽計画をたてられなくなる